

令和3年度一般会計補正予算(第5号・第6号・第7号)の概要

補正額	(第5号) 2億8,458万円
	(第6号) 7,414万円
	(第7号) 780万円
補正後の予算額	498億2,260万2千円

今回の補正は、主に国と県のコロナ対応臨時交付金を財源とした事業で、高齢交通弱者へのワクチン接種支援、輸送事業者の支援を行なう新型コロナウイルス感染症対策事業や低所得のひとり親世帯への支援、児童施設の感染対策、公立文化施設の感染拡大防止を行なうための予算などが盛り込まれました。


インターネット等による掛川特産品PR事業費追加 1,900万円

掛川市公式LINE登録者へアンケートを実施し、抽選で地場産品等をプレゼント




掛川茶消費拡大事業費増 3,000万円

掛川茶のブランディングを確立し、首都圏やWEBでの広報等戦略的なプロモーションを展開



低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費増 1億2,997万円

児童手当等受給・住民税均等割非課税者または、コロナの影響を受け家計が急変した方へ子ども一人当たり一律5万円給付



常任委員会 委員長報告 補正予算 関係抜粋

令和3年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会
委員長 寺田幸弘

企業連携活性化事業について
Q 企業連携活性化事業委託料の追加について、対象となる企業は何社あるのか。
A 重複する企業もありますが、包括協定 15 社、連携協定 27 社、災害協定 208 社で、250 社程度です。

日本語教室について
Q 創設された県の補助事業に対応した日本語教室の詳細を伺う。
A 9月5日から11月28日までの期間で開催し、1クラス10名、3クラスを予定しています。

環境産業委員会
委員長 藤原正光

お茶の消費拡大事業について
Q 大消費地である、首都圏でのPRをしているとのことだが、このコロナ禍においてのPRをどのようにしていくのか。
A 六本木駅周辺3駅に電子看板で交通広告をします。また、六本木にあるIT企業への売り込みや、都内の販売会・展示会等においてもPRしていきます。

生涯学習センター改修工事について
Q 文化ホール管理運営費について、生涯学習センターの会議室空調設備の他にも心配される箇所があるのか。
A ドーム屋根の一部に雨漏りがみられます。

文教厚生委員会
委員長 額岡慎悟

公立こども園等の感染防止対策について
Q すこやかこども園と幼稚園の対策費を比較すると、備品費と消耗品費の比率が大きく違うがその理由を伺う。
A すこやかこども園は厚生労働省、公立幼稚園は文部科学省から補助金が出ているため、補助金ごとに補助対象が異なるため比率が違います。

学校教育ICT化推進事業について
Q ICT支援員の派遣について、1か月に1回でなく、2週間に1回程度派遣ができるようさらなる増額が必要ではないか。
A 現在は新たな研修を実施し、GIGA班を設置して対応しています。予算の増額については今後の状況を踏まえて検討していきます。